

落ち着き しっかりとした 古き良きまち
水と緑あふれる うるおいのあるまち
美しい田園が広がる のびやかなまち
緑ゆたかでゆとりある 新しい暮らしが育つまち
歴史が 文化が 生活が 息づくまちなみ
みんなで守り 活かし 創り 整えながら
未来に伝え つないでいこう
わがまち結城の景観まちづくり



活かして 魅せる 育てて つなぐ
結城の景観まちづくり



結城市総合景観形成ガイドライン

- 発行：結城市都市計画課
- 編集協力：結城市総合景観形成ガイドライン検討ワークショップ
- 問合せ先：都市計画課 0296-32-1111（代）

平成27年3月 茨城県 結城市

①	景観形成の基本目標と景観区分の体系	1
②	景観形成ガイドラインの対象と配慮事項	4
③	景観区分ごとの基本方針と景観形成ガイドライン	6
3-1 面的景観 6		
1	駅前商業地ゾーン	6
2	中心歴史文化交流ゾーン	8
3	沿道市街地ゾーン	10
4	既成市街地ゾーン	12
5	住宅・一般市街地ゾーン	14
6	城跡周辺地区 地区計画ゾーン	16
7	工業地ゾーン	18
8	台地田園集落ゾーン	20
9	低地田園集落ゾーン	21
3-2 線的景観 24		
3-3 拠点景観 26		
④	色彩ガイドライン誘導イメージ	28

■■■ 景観形成ガイドラインの目的 ■■■

本市には、鬼怒川、田川や水田等をはじめとする豊かな自然・田園景観、またそのかなたに望む筑波山の景観、数多くの史跡や中世城下町の姿をとどめる見世蔵などの歴史景観、結城駅周辺の新しい市街地景観及び国道等幹線道路沿いの沿道景観など、多様な景観が共存して見られます。

また、歴史資源を活用した観光施策の展開や中心市街地活性化施策等との連携、市街地北部に関する「景観形成ガイドライン」策定など、良好な景観形成に向けた取り組みも積極的に行っています。

今後も、本市における将来の景観づくりを見据えながら、地域資源を活用した結城らしいまちづくりや、総合的な景観行政を展開・推進していくことが大切であることから、既定の指針に加え、市全域を対象とした「総合景観形成ガイドライン」としてまとめたものです。



1

景観形成の基本目標と景観区分の体系

1-1 景観形成の基本目標

景観形成の基本目標を次のように掲げます。

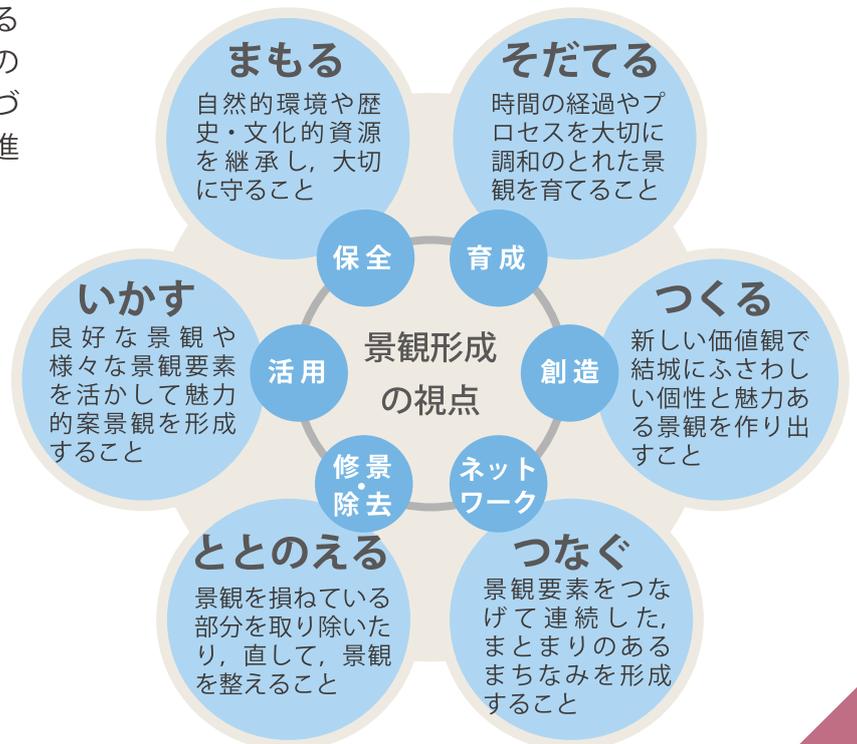
- 自然や筑波山と調和した水と緑あふれる景観づくり **自然景観**
- 地形や農地・山林を生かしたのびやかな景観づくり **田園景観**
- 歴史・文化を伝える風格ある景観づくり **歴史・文化景観**
- まちなかの魅力とにぎわいある景観づくり **中心商業地景観**
- ゆとりある心地よい景観づくり **市街地景観**
- 人の営みを感じ・継承する景観づくり **集落景観**
- メリハリのある景観づくり **シンボル景観**
- みんなで守り・つくり・育てる景観づくり **市民協働**



▲鬼怒川から望む結城筑波

1-2 景観形成の視点

景観形成の基本方針を設定するにあたっては、次に示す6つの景観形成の視点と考え方に基づきながら、景観まちづくりを進めていくことが大切です。



▲蔵